

わくわくとうど塾6月
車イスバスケット体験
IN サンアップル



流星クラブと対戦しました！



携帯電話でアクセス

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラへ 第63回 社会を明るくする運動実施

飯水地区保護司会では、例年7月を強調月間として、「社会を明るくする運動」を飯山市青少年育成市民会議、飯山市更生保護女性会との協働により実施しています。

今年も、7月1日(月)に市内の各駅前・大型スーパーの店頭前・栄村内での街頭活動が行われました。

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場から力を合わせて、犯罪や非行のない社会を築こうとする全国的な活動で、今回で63回を迎えます。



今年、第61回の運動から正式な資料として活用し始めています。

この「黄色い羽根」は、長崎地区保護司会が考案し、運動のシンボルマークであるヒマワリと、刑期を終え出所した男性をあたたく迎える夫婦愛を描いた映画『幸福の黄色いハ



ンカチ(昭和52年、山田洋次監督)』にヒントを得て作られたものであり、全国各地に広がりを見せています。

市民皆様のご理解、ご協力をお願いします。

身の回りにあるものを使って音楽を 須多峰介護センターで演奏会

6月27日(木)に須多峰介護センターに、TVなどで活躍されているジャグバンド演奏家の澤村重春(兵庫県神戸市出身)さんと市内で活動されている市ノ瀬広明さんが訪問され演奏を行っていただきました。

澤村さんは、阪神大震災後、神戸市内の幼稚園や保育所で演奏会を続けて来られ、資源を無駄なく利用するリサイクルの公共イベントとして、広く知られ、神戸にとどまらず、全国各地で幅広い活動を展開されています。



ジャグバンド演奏していただきました

いいやまおもちゃ病院 活動紹介

壊れたおもちゃをいつまでも大切に使うてもらえるように

「いいやまおもちゃ病院」では、壊れてしまったおもちゃを直すことで、子ども達に「ものを大切に作る心」をもってもらおうと、平成23年3月の「おもちゃドクター養成講座」を受講した有志が集まってできたグループです。

今年で2年目を迎え、メンバーも増えて、活発に活動しています。現在、9名のドクター

とナースが登録しています。

今年から、飯山市福祉センター(本町)にて、壊れたおもちゃを随時受け付けしますので、お気軽にお持ち下さい。

【受付時間】
月～土曜日
午前8時30分～午後5時まで



◆直せるおもちゃ/直せないおもちゃがあります

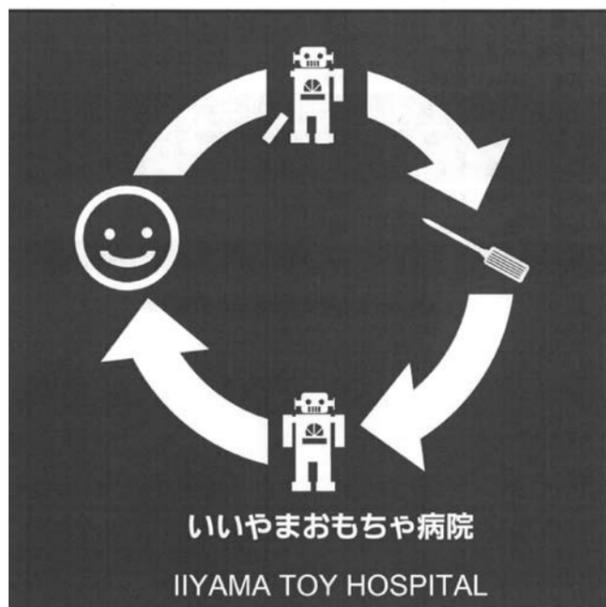
【直せるおもちゃ】

- ・仕掛けで動くおもちゃ(ブリキ、車、電車等)人形 など

【直せないおもちゃ】

- ・複雑な構造のおもちゃ(基盤が使われている、ゲーム機等、中身が見れないおもちゃなど)

※ドクターが直せるか確認しますので、一度お持ち下さい。



いいやまおもちゃ病院
IIYAMA TOY HOSPITAL

誰もが住み慣れた地域で暮らせる福祉を目指して 第58回飯山市社会福祉大会開催

8月25日(日)、午後1時30分より、飯山市公民館を会場に『第58回飯山市社会福祉大会』を開催します。

内容は、表彰式・記念講演会を予定しております。どなたでもご参加いただけますので大勢の皆様のご来場をお待ちしています。

また、当日は、手話通訳・要約筆記の情報提供や託児もご用意します。

※託児につきましては、要予約ですので、ご希望される方はご連絡をお願いします。

【記念講演会】

午後2時30分～4時00分(終了予定)

【講演】 俳優 小西 博之 氏

【演題】 『生きている喜び』



